

# Material to Mirai

東洋紡敦賀事業所のご案内

東洋紡株式会社 敦賀事業所

〒914-8550

福井県敦賀市東洋町10番24号

TEL: (0770)22-7600(代表)

<https://www.toyobo.co.jp/>



A6217K

**TOYOB**

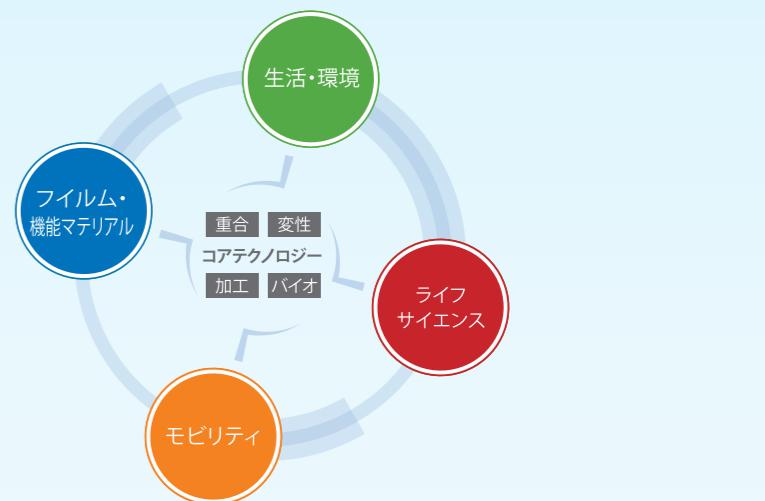
# ようこそ、ミライを つくる敦賀事業所へ

みんなが想い描く、快適で安心な暮らしがここから生まれています。

1934年、東洋紡 敦賀事業所はレーヨンの生産をスタートし、時代の流れとともにフィルム・バイオ・高機能製品とその事業内容を変えてきました。現在では高機能製品の拠点として成長を遂げ、当社の基幹事業所として研究開発から生産まで完結する体制を整えています。今求められるのは、これまでにない価値で未来をつくる機能性。より快適で安心なサステナブル社会を実現するために、素材の持つ次の可能性を追求し続けます。

## 当社グループの4つのソリューションと コアテクノロジー

コア技術を融合した新しい技術体系により、  
製品化を実現するとともに、  
新たなスペシャルティ事業の創出を加速しています。





**環境対応などの新たな  
価値提供にも注力し、  
世界No.1の「グリーン」フィルムメーカー、  
樹脂の総合プロバイダーを  
目指します。**

### 包装用フィルム



二軸延伸ポリエチレンフィルム  
「東洋紡エスティルフィルム®」

ポリエチレンを二軸延伸したフィルムで、耐熱性、寸法安定性、透明性、機械適性に優れています。産業資材、一般包装などの幅広い用途に使用されています。



熱収縮ポリエチレンフィルム  
「スペースクリーン®」

熱収縮ポリエチレンフィルム「スペースクリーン®」は、ポリエチレン素材としては世界最薄となる20 µmのフィルムです。これは従来製品の半分以下の薄さであり、大幅な省資源化に貢献しています。



リサイクルPETフィルム  
「サイクルクリーン®」

リサイクルPETフィルム「サイクルクリーン®」は、リサイクル樹脂の使用比率を世界最高レベルの80%まで高めながらも、従来製品の透明性、強度を保持しています。



エアバッグ用基布

当社のエアバッグ用基布は、独自の紡糸、製織および後加工技術をもとに、ノンコートタイプから各種コート布までラインアップ。軽量、コンパクト化を実現し、高い品質と優れた特性でグローバルで信頼を得ています。当社グループが供給するエアバッグ用原糸シェアは全世界の約3割に当たります。



射出成形用ポリエチレン樹脂  
「バイロペット®」

「バイロペット®」は射出成形用の熱可塑性ポリエチレン樹脂です。耐熱性、剛性、耐薬品性、電気特性に優れ、自動車部品、電気・電子部品、機械部品に多く採用されています。



高機能ポリアミド樹脂  
「グラマイド®」

高機能ポリアミド樹脂「グラマイド®」は世界標準を大きく超える70%の強化繊維を含有させることにより、金属代替材料として十分な強度と大幅な軽量化に寄与しています。



### 工業用フィルム



超複屈折ポリエチレンフィルム  
「コスマシャインSRF®」

超複屈折ポリエチレンフィルム「コスマシャイン SRF®」は、従来のポリエチレンが持つ複屈折による着色現象を解消した製品です。液晶テレビの大型化やベゼルレス化が進む中で高いシェアを獲得しています。



セラコン用離型フィルム  
「コスマピール®」

離型フィルム「コスマピール®」は、IoTや5G通信の普及、進展を支えるハイエンドなセラミックコンデンサに用いられる平滑性に優れたフィルムです。当社は、離型フィルムを原反フィルムから離型層のコーティング加工まで一貫して製造することができます。



ポリエチレン系合成紙  
「クリスパー®」

内部に空洞がある白色・不透明の二軸延伸ポリエチレンフィルムです。ペットボトル再生原料を含むリサイクル原料を活用し、同時に軽量化も実現した環境にやさしい合成紙です。

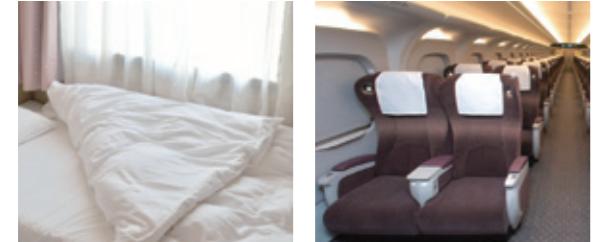


**グループ各分野の  
素材・技術を融合して、  
環境性能や安全性の  
向上で社会と市場の  
期待に応えます。**



## 3次元スプリング構造体 「プレスエアー®」

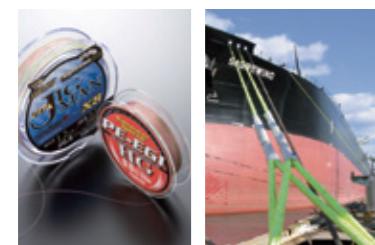
3次元スプリング構造体「プレスエアー®」は、通気性、クッション性能、透水性、耐久性に優れているため、寝具や車両座席用途を中心に使用されています。制菌性能も付与しており、病院や介護の分野でも採用されています。



写真提供:JR東海

## 超高強力ポリエチレン繊維 「イザナス®」

超高分子量ポリエチレンを独自のゲル紡糸法で製造するスーパー繊維です。高強度・高弾性率であり、かつ水に浮くほど軽いのが特長です。釣り糸や防護衣料、大型船の係留ロープなど多くの分野で活躍しています。



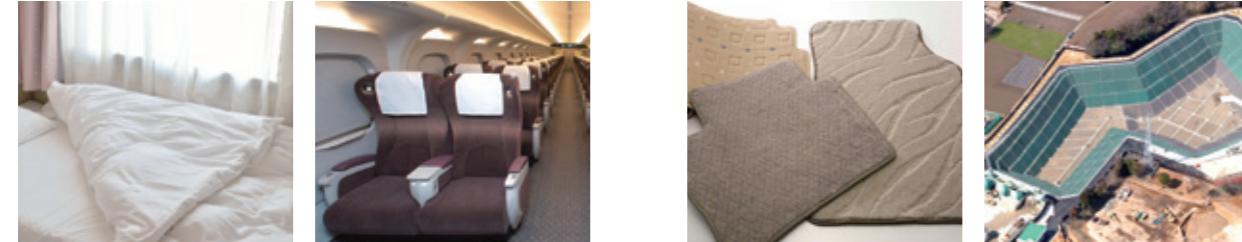
## 高強力ポリエチレン繊維 「ツヌーガ®」

溶融紡糸法で高分子量ポリエチレンから作られた高強力繊維です。水や光、薬品への耐久性に優れ、着色も可能です。耐切創手袋を主用途とし、新しい分野にも用途開発を進めています。



## スパンボンド不織布

原料にポリエチレンを使用した機能性スパンボンド不織布は、自動車、建設、土木、包装、衛生製品などさまざまな用途で使用されています。土壤汚染防止をはじめとして、さまざまな観点から環境保全・環境負荷低減に貢献しています。



写真提供:JR東海

バイオと膜をコア技術として、  
他社が追随できない唯一無二の  
製品を提供し、医療の発展・  
QOL(生活の質)の  
向上に貢献します。

ライフサイエンス  
Life Science

## 臨床検査機器

検体前処理から遺伝子增幅・検出まで、全自动で測定する全自动遺伝子解析装置「GENECUBE®」や、尿中有形成分分析装置「USCANNER®(E)」などを提供し、より良い医療に貢献しています。



## 化粧品原料

当社では、肌にも地球にもやさしい天然系保湿成分や、ポリアミンを含む高生理活性成分などの化粧品原料を、効率的に生産する技術を開発、化粧品業界から大きな期待が寄せられています。



生活・環境  
Lifestyle and Environment

気候変動や大気汚染、  
水不足などの地球規模の  
課題に独自の技術で  
取り組んでいきます。

## 関係会社

| ゼノマックスジャパン株式会社

### 世界最高レベルの寸法安定性を持つ 高耐熱性フィルムを製造

長瀬産業(株)との合弁によりゼノマックスジャパン(株)を設立しました。世界最高レベルの高耐熱性、高寸法安定性\*を持つポリイミドフィルム「ゼノマックス®」を事業化し、生産工場を敦賀事業所内に建設。ガラスやシリコンウェハー、セラミックなどに代わる基板材料として電子ペーパーディスプレーや有機ELディスプレー、各種センサー向け用途に展開しています。

\*寸法安定性:温度変化に対して物質(材料)の寸法(サイズ)変化が起こりにくい性質。



| キャストフィルムジャパン株式会社

### 食品包装用途で広く使用される 無延伸フィルムの製造

DIC(株)との合弁会社であるキャストフィルムジャパン(株)は、ポリプロピレンやポリエチレンを原料として、菓子やパン、ふりかけ、乾物などの食品包装用のフィルムや工業用途のフィルムを製造しています。透明性や光沢、耐熱性、防湿性等に優れる「パイレン®フィルム」(ポリプロピレン)、低温ヒートシール性、耐寒性、耐破袋性に優れる「リックス®フィルム」(ポリエチレン)は、多くのお客さまに採用されています。



東洋紡のコア技術を2つの事業所に結集し、  
各領域で未来に向けた研究・開発・生産を推進しています

#### 生産部門

- 敦賀機能材工場
- 敦賀ポリマー工場
- つるがフィルム工場
- 敦賀バイオ工場

#### 研究開発部門

- ポリマー開発センター
- 敦賀フィルム技術センター
- バイオテクノロジー研究所

#### 構内マップ

敦賀事業所 第二



敦賀事業所 第一



これからも社会と  
地域の発展のために、  
敦賀の街とともに  
歩み続けていきます

1933年～  
レーヨン繊維の始動

- 1882** 東洋紡の前身である大阪紡が渋沢栄一により創立
- 1914** 大阪紡(株)と三重紡(株)の合併で東洋紡績(株)を設立
- 1933** 昭和レーヨン(株)が敦賀に工場を建設(現:敦賀事業所第一)
- 1934** 東洋紡が昭和レーヨンを合併、東洋紡績敦賀工場としてレーヨン(人絹糸)を生産開始



渋沢栄一



1933年 敦賀工場建設

1960年～  
合成繊維の興隆

- 1963** ポリウレタン弾性繊維「エスパ」生産開始
- 1964** 呉羽紡績(株)敦賀ナイロン工場設立(現:敦賀事業所第二)、ナイロン糸の生産を開始
- 1966** 呉羽紡との合併により、東洋紡敦賀ナイロン工場となる
- 1967** ポリエステル長繊維生産開始
- 1969** プロミックス繊維「シノン」生産開始



1964年 敦賀ナイロン工場

1970年～  
非繊維事業の拡大

- 1973** レーヨンタイヤコード生産休止
- 1976** 東洋紡スパンボンド(株)敦賀工場操業開始
- 1978** 敦賀酵素工場の設立(現:敦賀バイオ工場)
- 1981** 敦賀フィルム(株)敦賀工場設立
- 1984** (株)日本マグファン敦賀工場操業開始(現:つるがフィルム工場)



1973年 社内報



1982年 日本マグファン  
敦賀工場建設

1990年～  
高機能製品の追求

- 1992** 敦賀バイオ研究所の設立(現:バイオテクノロジー研究所)
- 1993** エアバッグ用ナイロン原糸の生産開始
- 1996** 3次元スプリング構造体「プレスエアー」生産開始
- 1998** PBO繊維「ザイロン」生産開始
- 2002** 敦賀地区の工場を敦賀事業所として再編
- 2003** 超高強力ポリエチレン繊維「ダイニーマ」(現:「イザナス」)生産開始



現在のバイオテクノロジー研究所

2010年～  
可能性への挑戦

- 2012** 東洋紡創立130周年
- 2014** つるがフィルム工場にて超大型機(JT5)を稼働
- 2015** キャストフィルムジャパン(株)設立(敦賀フィルム(株)とDICフィルテック(株)を統合)
- 2018** ゼノマックスジャパン(株)設立
- 2019** 敦賀事業所 創業85周年  
セラミックコンデンサ用離型フィルム加工設備の新設・稼働



現在のつるがフィルム工場

敦賀の街の動き

- 1937** 敦賀町と松原村が合併して市制施行

- 1945** 敦賀空襲(死者100名以上)  
敦賀工場に模擬原爆投下

- 1955** 近隣5ヶ村を編入合併し現在の敦賀市が誕生

- 1970** 敦賀原発が営業運転開始

- 1975** 国鉄湖西線が全面開通

- 1980** 北陸自動車道敦賀・米原間開通

- 1999** 敦賀港開港100周年

- 2014** 舞鶴若狭自動車道が全面開通

- 2018** 第73回国体を福井県で開催

## 生き生きと働く職場環境を目指し、安全環境の整備や福利厚生、教育体制の充実に努めています

### 環境・安全・防災

敦賀事業所では、「安全第一」の事業所方針のもと、事業所で働く仲間が、安全で働きやすい職場環境となるように、また、事業所周辺に対する環境災害リスクを低減させるべく、日々、労働安全および環境防災活動に取り組んでいます。

### 労働安全活動



「ご安全に!」の励行、作業に適した保護具の使用、作業前の指差呼称等で、作業者の安全意識を高める「みまもろう運動」を推進しています。また、現場の作業リスクを数値化して評価する「リスクアセスメント活動」を実施しており、設備対策に重点を置いた本質安全化に向けた取り組みを推進しています。

### 環境防災活動



生産現場から排出される環境負荷物質を減らし、環境に優しい製品作りを通して環境保全に取り組んでいます。また、生産現場から火災、爆発、流出などの事故を起こさないよう、設備や作業方法を点検する保安防災を推進。自衛防災団を組織し、災害を鎮圧できるよう防災訓練等を実施しています。

### 福利厚生・施設



食堂  
社宅・寮



クラブ活動  
スポーツ施設

### 人材教育体制

入社後は持続的に教育・フォローアップ面談を実施することで、従業員の成長を継続的にサポートしています。



従業員にとって働きやすい制度が整っており、「ふくい女性活躍推進企業プラス」にも登録されています。

